

輝け！シン尾花沢中

第106号

令和7年

10月16日

まちのさかえは 国の富 はたらくものの よろこびを

尾花沢に活力を！③【幼稚園】～自分たちで創り上げた「おばね学」地域貢献～

引き続き、本校3年生「おばね学」地域貢献活動をご紹介します。
今号は、幼稚園チームの班長の振り返り及び協力いただいた保育園の先生方の感想です。

■尾花沢幼稚園

加藤美結さん：園児に「何にかこうかな～？」と優しく話しかけることができ、活動を楽しんでくれてうれしかった。園児たちが「おねえちゃん、できた～」と持ってきたり「僕もしたい～」と来てくれたりして、一緒に活動して楽しい思い出ができた。

大内 基さん：タブレットを見ながら園児が遊ぶ手裏剣などをつくった。園児がとても小さくてかわいかった。園児が聞き取ることのできる声の大きさとはきはきした話し方を意識することが大事だと学んだ。園児が笑顔になると、とてもうれしいと感じた。

石沢さくらさん：幼稚園の子供向けに、分かりやすく楽しめる50音すべてのカルタをつくるのが難しかった。本番では、思っていたよりも和気あいあいとしていて、仲良く活動ができて元気をもらえた。子供たち、幼稚園の先生、自分たちがうれしくなるような活動をつくることができたことが良かった。達成感が大きい。

■協力して下さった幼稚園の先生方の感想

- ・カルタ、くるみボタン作り、レクと3チームに分かれて遊んでくれました。カルタは、尾花沢のことがたくさん分かるユニークな文とかわいい絵ばかりでした。くるみボタンで作る缶バッジや紙ゴムは、女の子がとても気に入って製作している様子が微笑ましかったです。レクの男子チームは、子供たちが盛り上がるようにアイデアいっぱいのゲームばかりで、たくさん汗をかきながら遊んでくれました。どのチームも子供の目線に合わせて優しい言葉がけをしてくれていたのが印象的でした。今日は素敵な時間、ありがとうございました。
- ・中学生のお兄さん、お姉さんと遊べることを心待ちにしていた「らいおんぐみさん」です。あっという間の1時間でしたが、とても楽しそうでした。子供たちの目線になって姿勢を低くしてかかわってくれたり、優しくルールや作り方を教えてくれたり、子供たちが終始笑顔になる楽しい活動を教えて接してくれました。

次号でも「おばね学」地域貢献活動をご紹介します。

【文責：校長 工藤雅史】

